

## ●土木費

### 五反田公園整備工事費

**問** 五反田公園の設計にあたり、若い世代の意見をどのように聞いたのか。

**答** 近隣住民に親しまれ、地域住民のコミュニケーションの場となるような公園を目指し、3総代区から各年代の代表者をメンバーとして、市民参加型のワークショップを開催した。その結果、芝生広場が1390㎡、土の広場が585㎡、また、施設として複合遊具、ロープ遊具、多目的トイレ、かまどベンチ、健康遊具などを設置することになった。

**問** 現在、公園の工事は止



整備中の五反田公園

まっているように思うが、公園はいつから利用できるのか。

**答** 工事自体は28年度で終わる。ただ、芝などの養生があるので、まだ確定ではないが、29年のゴールデンウィーク前後の利用開始を予定している。

## ●消防費

### AEDコンビニエンスストア設置事業

**問** 市内コンビニエンスストアでのAED設置数と使用実績を伺う。

**答** 27年7月1日の運用開始時点で37店舗に設置し、その後、新たに2店舗設置した。AEDの使用実績はない。

**問** AEDは電池式の機器だが、保守や点検の管理は誰がどのように行っているのか。

**答** AEDの保守管理は、リモートシステムによりAED本体の状態、電極パッドの使用期限、バッテリー残量など毎日のセルフテストの情報ウェブ上で見ることができているので、定期的な情報を確認している。ま

た、AEDを使用したり、異常がある場合は、メールで防災課に連絡が来るようになっていている。

## ●教育費

### 外国人英語指導助手経費

**問** 事業の内容は。

**答** 生きた英語に触れることの大切さから、英語教育の充実に向けて、3人の外国人の先生を直接雇用している。小学校5、6年生を対象に外国語活動を週1時間で設定している。また、中学校では、1学級につき年間12時間から13時間を設定している。

**問** 中学校の英語の授業では、外国人の先生に来てもらって、どのような授業を行っているのか。

**答** 中学生には、文法や単語を覚えるというより、外国人とのコミュニケーションを重視するような授業を行っている。

## ●災害復旧費

### 災害対策本部費

**問** 災害対策本部の体制や人数はどのようなになっているのか。

**答** 台風接近等に伴う勤務時間外の本部体制は、総務部、建設部、都市開発部、上下水道部の4部長及び副市長が事前に協議して、市長の指示を仰ぎ、決定している。

27年度の災害対策本部の設置回数は3回で、9月9日の台風18号、9月17日のチリ中部沖地震津波、28年1月19日の暴風雪に伴うものである。

**問** 災害時における応急的な復旧工事は、当日か翌日まで終わるのか、あるいは何日もかかってしまうのか。

**答** 27年度は、応急復旧工事等の完了までに最短で3日間、最長で83日間かった。倒木や小規模な土砂崩れなどケースごとに、すぐに道路を復旧しなければならぬなどの緊急性を考慮しながら、優先順位を決めて、順番に工事等を行っている。

## ■歳入

### ふるさと蒲郡応援寄附金

**問** 制度開始年度からの寄附金額を聞くと27年度の金

## ■意見書

### ①定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣  
(○内の数字は、意見書案番号)

## ■陳情

### ○定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書

提出者 蒲郡市教員組合  
執行委員長 彦坂 繁氏 はじめ383名  
審査結果 採択